

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 結果・学校関係者評価

| | |
|------------------|---|
| 学校名 | 小城市立晴田小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | ・学校教育の重点目標の全体評価指標である「自分は人の役に立つことができている」は、肯定的な回答をした児童が90.5%であり、指標を大幅に上回った。全ての学年において80%を上回っており、学校全体で褒めて認めることを大切にしながら自己有用感を育む指導に取り組んだ成果であると考えられる。今年度も「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」「私もあなたも特別なonly one! 大事にしよう命と心」を合言葉に、自他とつながり合い、自分や友達を大切に行動できる児童を育成するために、児童の自己有用感をさらに育てていきたい。 |
| 2 学校教育目標 | 「心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子」の育成 一つながりあおう！地域に根ざそう！ー |
| 3 本年度の重点目標 | 「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」「私もあなたも特別なonly one! 大事にしよう命と心」を合言葉に、自他とつながり合い、自分や友達を大切に行動できる児童を育成するために、児童の自己有用感を育む。 全体成果指標：「自分は人の役に立つことができていると思う」と肯定的な回答をしている児童85%以上。 |

4 重点取組内容・成果指標

| (1) 共通評価項目 | | | |
|-----------------------|--|--|--|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 |
| | 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | |
| ●学力の向上 | ○全職員による共通理解と共通実践 | ○校内研究のテーマを意識して授業づくりに取り組んでいる職員の割合90%以上。 | ・県が示したPDCAサイクルののち、各職員が授業づくりを確実に実施できるように、学力向上Coがコーディネートを行う。 ・校内研究の成果と学校評価等との関連(整合性)を図るようになる。 |
| | ○学習規律や学び方についての共通実践 | ○「学びの6か条」の実施について肯定的な回答をしている児童と職員85%以上。【学習部】 | ・毎週末、各クラスで「学びの6か条」を振り返り、委員会活動(放送委員会)で各学年の達成状況を紹介する場を設定する。【学習部】 ・自学を家庭学習とし、優れているものを学年掲示板にクラス毎に掲示する。【学習部】 ・晴田小スタンダードを徹底し、学習環境の整備を行う。【学習部】 |
| | ○読書活動の推進 | ○年間80冊以上図書館で本を借りた児童の割合80%以上。【図書館教育担当】 | ・図書館祭り、委員会活動、読み聞かせ活動、目標冊数設定等により、読書活動を推進する。【図書館教育担当】 ・学習内容に沿った本を学年ごとに定期的に準備し、すぐに手に取れる環境をつくることで、本に触れる機会を意図的に増やす。【図書館教育担当】 |
| | ○算数科における学び合い活動の充実(校内研究の充実) | ○「あいあいタイム」の実施と効果について肯定的な回答をしている児童と職員85%以上。【研究主任】 | ・授業の中で様々な形の必然性のある「あいあいタイム」を仕組み、自分の考えを持たせる。インプット、アウトプットのやり取りをしながら、考えを言語化させることで理解を深める。【研究主任】 |
| ●心の教育 | ●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」を実践することに肯定的な回答をしている児童85%以上。【安心安全部】 ○「自分は人の役に立つことができている」と肯定的な回答をしている児童85%以上。(全体指標と同様) | ・人権教室、人権フェスタ(授業参観)を開催し全学級で人権学習を実施する。また、校内人権標語コンクール等を実施する。また、いじめ防止・心を考える日に、児童の人権意識を高められる内容の放送を行う。【人権・同和教育担当】 ・2月に「いのちを考える週間」を設定し、集会活動の実施、養護教諭や助産師からの授業等を実施を通して、命の大切さについて改めて考える。【人権・同和教育担当・養護教諭】 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止のための取組、事案対処等)について組織的な対応ができていると回答した職員85%以上。 | ・毎月1回の「月の心」アンケート及び年2回(6月11月)の教育相談週間等を行い、教育相談を充実させることでいじめの早期発見に努める。【教育相談担当】 ・ケース会議を適宜開催し、チームで対応すると共にSCやSSW等との連携を図る。【管理職・養護教諭】 ・いじめに関する研修会を開き、いじめの未然防止・早期発見等への職員の対応力を高める。【管理職】 ・いじめ防止対策委員会での意見を校内での取組に反映させる。【管理職・安心安全部】 |
| | ●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 | ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上【教務主任】 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上【特活部】 | ・学級での係活動や、学校行事などに際しての実行委員などを活性化させ、活動に対して振りかえりを行い、承認する場を積極的に設定する。【特活部】 ・学期初め、終わりのキャリアパスポートの活用に加え、行事などに対してどんなめあてをもって参加するかを明確化させ、振り返りを行わせる。【教務主任】 ・縦割り班活動を中心に、異学年との交流の中で互いの良いところを見つけられるようにする。【特活部】 |
| | ○登校不安がある児童に対する取組の充実 | ○登校不安を抱える児童への対応がチームとして取り組んでいるという職員の回答85%以上。【安心安全部】 | ・「月の心」アンケート、「教育相談週間」の実施に加え、県の「不登校対策チェックシート」活用による、早期発見・早期対応に努める。 ・ケース会議の実施によるチームでの対応、SC・SSW他各関係機関との積極的な連携を行う。 |
| ●健康・体づくり | ●「望ましい生活習慣の形成」 | ○週3回以上運動をしている(体育の時間を除く、徒歩登校を含む)と回答した児童85%以上。【保体部】 ○あいさつ、靴そろえ、無言掃除について肯定的な回答をしている児童90%以上。【安心安全部】 | ・放送や連絡ファイルで徒歩登校の意識づけを行う。また、運動・保健委員会による体力向上に関わる活動を計画、実施する【保体部】 ・月の生活目標の中にあいさつ・靴そろえ・掃除を随時取り上げ、各学級で具体的な目標を設定することで児童の自主的な行動化を図る。【安心安全部】 |
| | ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 | 「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 | ・給食委員会の日々の活動や学校給食週間での取り組み中で、食の大切さについて全校に呼びかける。 ・学級活動や家庭科等で、健康によい食事について考える時間を設ける。 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ●1ヶ月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 | ・晴田小働き方5か条の見直し更新を行う。 ・毎月の時間外在校時間の省察を行う。 ・定時退勤日(ハッピーデーの推進)毎週金曜日17時30分と週に1回マイ定時退勤日、年に1回のパースデー休暇を各自設定し、実施する。 ・5つの部によるチーム制の充実を図る。 |
| ●特別支援教育の充実 | ○子どもの特性を考慮した環境整備(人的・物的) | ○特別支援学級在籍の保護者が「個に応じた指導・支援を受けている」と肯定的な回答をした割合90%以上。 ○特別支援教育に関する理解や連携が深まったことに肯定的な回答をしている職員90%以上。 | ・特別支援教育部のチーム力を発揮し、特別支援教育の推進、校内支援体制の充実を図る。 ・交流学級担任と特別支援学級担任の協働・連携を促進し、支援の充実を図る。 ・児童理解・児童支援のための取り組みとして、計画的に職員への特別支援研修会やケース会議を実施し、情報を共有する。 ・毎月オレンジ部会を開き、特別支援学級在籍児童について情報交換、支援の検討を行う。 |
| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | |
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 |
| | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | |
| ○地域連携 | ○地域住民(青少健・育友会)や保護者と連携した教育課程等の実践 | ○「土曜教室や地域や保護者と連携した体験活動・育友会活動に取り組んでいる」と肯定的な回答をした児童・保護者・職員の割合90%以上。【教頭】 ○地域や地域人材活用した学習に楽しさややりがいを感じている児童90%以上。【教務】 | ・計画書や人材バンク表等を用い、総合的な学習の時間や生活科等における地域の教育資源や人材の積極的な活用を行う。【教務】 ・土曜教室等への児童参加を積極的によびかける。(はなまる連絡帳等)【教頭】 ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域との連携を図り、自己有用感を視点にもった単元構成や教育実践を行う。【教頭・教務】 ・育友会専門部や学年役員等と連携を図る。【教務】 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

| | |
|----------------|--|
| 5 総合評価・次年度への展望 | |
|----------------|--|